

岩手中・高等学校
創立90周年記念



記念式典

一次 第一

開式 の 辞

国歌 斉 唱

学校長 式 辞

理事長 挨拶

同窓会 会長 挨拶

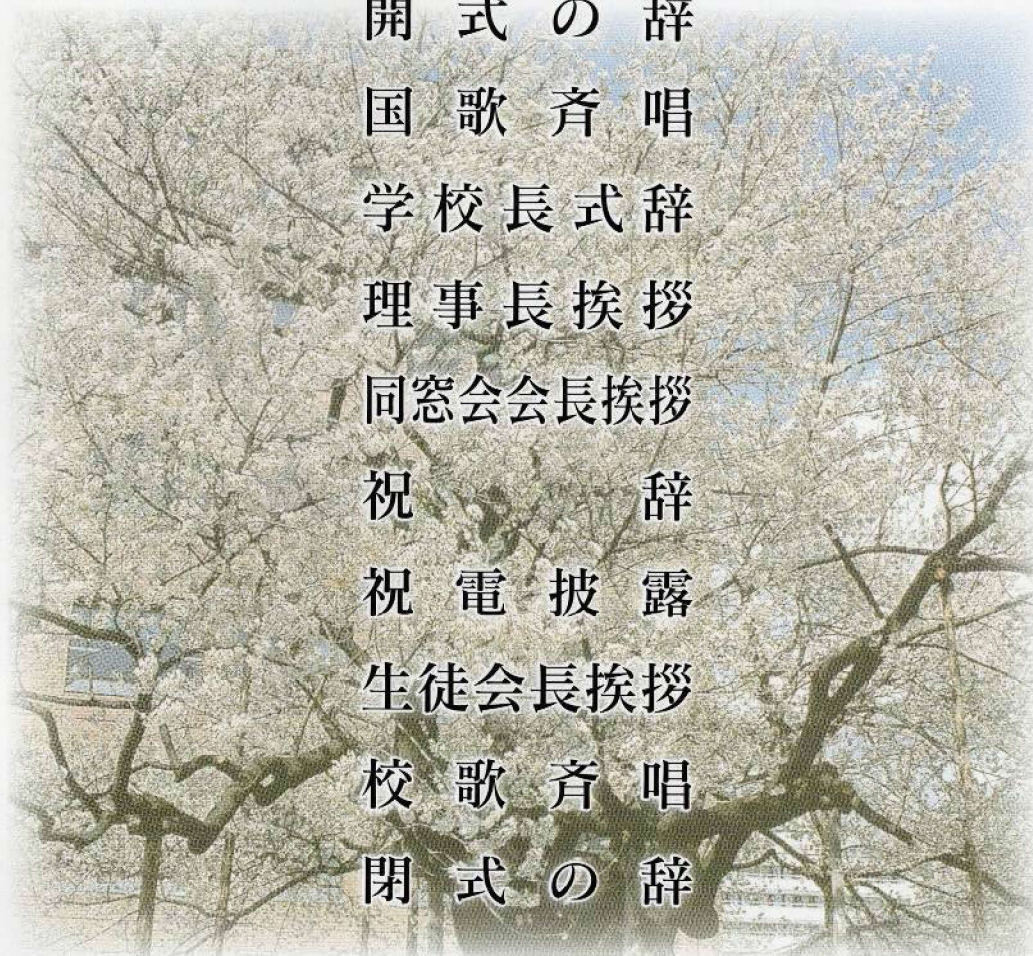
祝 辞

祝電 披露

生徒会 会長 挨拶

校歌 斉 唱

閉式 の 辞



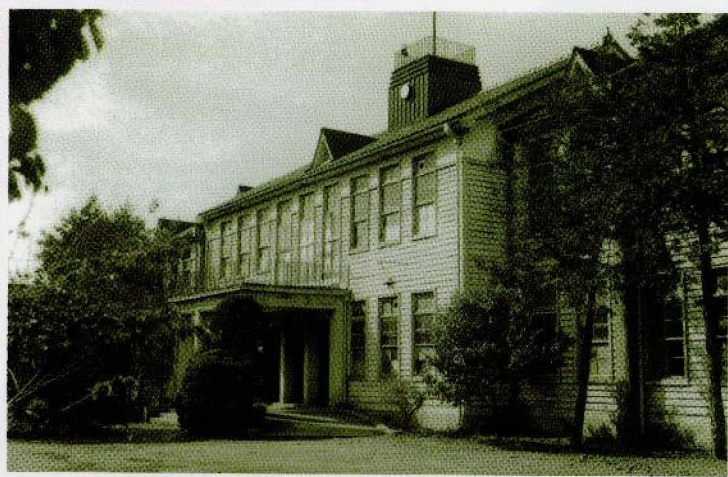
平成28年11月22日(火)
盛岡市民文化ホール大ホール

校訓（三綱領）

積慶 せきけい

重暉 ちゆうき

養正 ようせい



校歌

作詞 土井 晩 翠
作曲 山 田 耕 筈

一、旭日あさひにおう桜花さくらばな

其芽そのめ大地の深きより

出でて貫く花崗石はながわいし

郷の名所青春さとの

意気をかたどるうれしさよ

二、見よ金剛こんごうの不壊ふくわいの念

神と祖国と人道じんどうの

三つに仕えて怠らず

日々につとめて光栄を

期する一団若き友

三、大沢川原おほさわがわらもとをおく

わが中学ちゅうがくの同じ窓

希望のぞみの光身に浴びて

心ひとしくすこやかに

高き遠きにあこがるる

四、無言むげんのさとし朝夕あさゆふに

七千尺ななせんしゃくの岩手山いわてやま

北上川ひがしの八十里

友よ心の目にも見て

いざ向上こうじやうの道踏みちふみまん



記念講演

演題

「創立者 三田義正について」

講師

盛岡市先人記念館

館長 千田順一 先生

御経歴

昭和27年 一関市生まれ
昭和50年～ 福岡小・太田小（浄法寺）・上田中 教諭
平成4年～ 大船渡教育事務所 指導主事
平成6年～ 盛岡教育事務所 指導主事
平成10年～ 盛岡教育事務所 主任管理主事
平成13年～ 小屋瀬中・巻堀中・見前南中・城西中 校長
平成24年～ 盛岡市先人記念館 館長

盛岡市先人記念館

昭和62年10月2日開館

金田一京助や新渡戸稲造など、盛岡ゆかりの政治家、学術教育家、芸術文化人から、社会近代化に携わった人まで130人を紹介する記念館

沿革

大正15年	盛岡市大沢川原に旧制岩手中学校開校
昭和2年	廣島英雄、岩手中学校に赴任。ラグビーを体育の正課とし岩手県ラグビー発祥の地となる
昭和4年	本県初のラグビー定期戦、岩手中学VS盛岡中学
昭和22年	新制岩手中学校移行
昭和23年	新制岩手高等学校設立
昭和29年	学校図書館を竣工し石桜図書館と命名
昭和51年	創立50周年記念式典を挙行
昭和62年	校舎増築、体育館、プール竣工
平成5年	滝沢に野球グラウンド造成工事完成
平成8年	創立70周年記念式典を挙行
平成12年	寄宿舎竣工 石桜寮と命名
平成18年	創立80周年を迎え、中高一貫EXコーススタート
平成20年	県内初の私立併設型中高一貫教育校として認可を受ける



News & Topics

■石桜寮

平成12年竣工。学校敷地内に併設され、3階建てで、35名居住可。食堂・浴室・談話ルーム等が完備され、清潔で明るい雰囲気である。寮生たちは充実した施設の中、元気に勉学に励み、お互いの交流も深めている。

■囲碁・将棋部

平成10年創部。全国高総文祭将棋部門男子団体戦において、平成19年の第3位から8年連続表彰台に上がっている。平成20年に初優勝を飾り、平成21、22年は惜しくも準優勝であったが、平成23年には再び優勝の栄冠に輝いた。平成24、25年も優勝し、岩手県勢初の3連覇という輝かしい実績を打ち立てた。東日本大震災の年からの連続偉業により、多くの盛岡市民に希望と勇気を与えたという理由で文化分野初の盛岡市民栄誉賞を受賞した。また、放課後には部室を開放して、市民が自由に来校して部員と対局できる活動を実施したり、盛岡市内の老人ホームや子ども将棋教室はもとより、東日本大震災の被災地の将棋教室などにも積極的に参加し、県民との交流を深め、将棋の普及にも努めている。

■中高一貫教育の導入

平成20年1月に併設型中高一貫教育校の設置を申請、設置が認可される。平成20年4月1日より中高一貫教育を開始した。中高6年間の授業及び、特別講習・学習合宿・衛星放送授業などによって、東北大、筑波大、防衛大、同志社大、岩手医大医学部、立教大など国公立大学・難関私立大学に多数合格者を出している。

■山岳部

全国高総体（インターハイ）登山競技男子団体戦において、平成18年5位、19年準優勝、25年8位、26年準優勝というすばらしい成績を残している。また、平成21年にはインターハイ縦走競技で優勝、トキめき新潟国体リード競技でも優勝し、全国的に知られる強豪校となった。

■テニス部

県内に敵なし。平成28年岩手県高総体テニス競技で、団体戦・シングルス・ダブルスを制覇し完全優勝した。団体は7連覇20回日の優勝となる。